

7月17日(土)	13:30-15:30 カフェさくさぽ「10年後の佐久を考える～食～」 場所：野沢会館ホール
8月4日(水)-21(土)	第2回「市民活動×笑顔」写真展 場所：野沢会館市民ギャラリー
8月8日(日)	13:30-16:20 協働企画・市民活動交流会 場所：野沢会館ホール
8月29日(日)	13:30-16:00 講座「強くあたたかい組織・コミュニティの作り方」 場所：野沢会館ホール
7月15日(木) 8月19日(木) 9月16日(木)	いずれも 13:30-15:00 毎月第3木曜開催! おしゃべり会

※タイトルや内容、開催時期は変更となる場合があります。開催日時等の詳細は決定次第、さくさぽフェイスブックページ・ホームページ・さくさぽ窓口で順次、発信・告知します。参加の際は、電話もしくはメールでの事前申し込みをお願いします。

今後の予定



さくさぽ



「渋沢栄一、第2の故郷探偵団」誕生! ～共感から協働へ! 佐久への想いが人を結ぶ～



大河ドラマ「晴天を衝け」で描かれる渋沢栄一の「第二の故郷」といわれる佐久。「佐久の魅力、佐久と渋沢栄一との繋がりをこの機会に知ってもらいたい」との想いからさくさぽに相談された神津さん。同じく渋沢栄一について調べていた団体や、内山に拠点を持つ団体などにお声がけしたところ、共感する方が集まり有志団体が立ち上がりました。その名も「渋沢栄一、第2の故郷探偵団」。それぞれの情報、得意分野を持ち寄り、佐久商工会議所の協力も得て、5月6日に中込会館で「第一捜査会議～渋沢栄一はなぜ佐久を訪ねたんだろう?」を協働開催。協働とは、行政や市民活動団体など様々な組織がお互いの強みを活かし、共通の目的達成に向け協力すること。まさに協働が形になったイベントでした。探偵団の団員から、藍染や内山にある漢詩についての報告があり、約40名の参加者からは「わかりやすく面白い」「次が楽しみ」との感想が。探偵団の調査は始まったばかり! 佐久と渋沢栄一の関係を探り、次なる捜査会議が始まっています。

さくさぽアルバム



【市による地域情報アプリ「さくステ」】
相談にきた区長さんたちと一緒に活用方法を考えられています。



【里山案内人と高校生】
山の状態はプロに聞く。生態系研究員・林業士・防災士と共に「ミ拾い」。



【台風19号被災マップ作成】
災害当時の写真と浸水箇所をチェック。消防団や区長へのヒアリングも。



【SDGs de 地方創生ゲーム @野沢北高校】
高校1年生が挑戦! 協働プロジェクトで、まちの未来を考える。

「かき氷とラーメン」 M・作

季節の話題

今回も昔々のお話です。我々の若い頃は土曜日は半ドンでした。「半ドン」はオランダ語の日曜日を意味する "zondag" が語源だそう、土曜日の正午まで授業や仕事がありました。特に高校時代は半ドンの午後は貴重な時間でクラブ活動に熱中、昼食は必ずクラブの友人達とラーメンを食べに行くことに決めていました。当時のラーメンどんぶりにはふちに四角形の渦巻き状になっている文様で中国の殷の時代に青銅器の装飾に使われた雷文です。また、器の底には天使の使者として崇められていた龍の模様がありました。我々は「ドラゴン会」と名乗り、龍の姿が見えるまでラーメンスープを飲み干すことを使命としていました。ラーメンと同時に夏場の20円のかき氷は忘れられません。かき氷は枕草子の中に記されていることを知ったのも高校時代です。当時は冷房などありませんが、ラーメンを食べて汗だくになった後、氷レモンを流し込み、キーンと頭が痛くなる辛さがたまらなかつたのを覚えています。そんな素敵な高校時代でしたが、我々が卒業した時にラーメンが50円から60円に値上がりしたことを聞きました。

イベント実現のために 集まった方々

- 内山地区の良さを伝える「内山キラキラプロジェクト」代表の若山ゆきさん
- 藍染めの歴史に詳しい「佐久藍染」代表の岩崎泰治さん
- 佐久地域の歴史文化を広める「佐久歴史の道案内人の会」の坂田孝三さん(左)と小林正俊さん(右)
- イベント技術サポートのボランティア中山寿朗さん

「活動に興味がある方はご連絡お待ちしています」と、呼びかけ人の柳沢弘文さん(左)と団長の神津任さん(右) 連絡先: 090-2163-6914 (神津さん)

機関紙についての感想・ご意見はこちらへお寄せください ↓ ※記載の情報は2021年6月時点の情報です

<編集・発行>
佐久市市民活動サポートセンター
〒385-0043 長野県佐久市取出町183 野沢会館2階
開館時間: 9時～20時・月曜休館(祝日の場合は翌火曜休館)

TEL: 0267-64-6362 FAX: 0267-64-6363
Eメール: sakusapo@sakunet.ne.jp
ホームページ: <http://www.sakusapo.com/>
Facebook: <https://www.facebook.com/sakusapo/>



イベントレポート

5/22

カフェさくさぽ・SDGs ジグソーパズル ～あなたの行動を17ピースにあてはめよ～

SDGs (エスディーゼズ) とは、国連が定める持続可能な開発のための国際目標のこと。自分たちの普段の生活や活動の中から17の目標に関することをゲーム感覚で探し、ジグソーパズルの17ピースに当てはめました。「散歩もSDGs になるんだね」「テレビを家族みんなと一緒に見て笑うのは、目標16番の平和と公正に繋がるのでは」など小学生からシニアまで幅広い意見が活発に交わされ、最後には「自分のこれから SDGs」を宣言し合い楽しいワークショップになりました。



親子連れや市の職員など、25名が参加しました

ワンポイントアドバイス

さくさぽでは市民活動に関するご相談をお伺いします。団体の運営、広報、協働についてなど、専門性のあるスタッフが解決に向けて一緒に考えます。これから活動を始めたい方も歓迎です。ぜひお気軽にご相談ください!



ご相談

地域で活動を始めたいのですが、どう始めればいいですか?

アドバイス

まずは、何を目的に、誰を対象に、何をしたいか? をご自身で言葉にすることをお勧めします。紙に書き出したり、誰かに話すことで、考えがより明確になります。やりたい活動と、類似した活動があるか調べてみるのも良いでしょう。最初から大きいことをやろうとせず、無理なくできる範囲から始めるのがおすすめです。



佐久市が令和2年3月に策定した「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」によれば、平成30年度のごみ総排出量は年間約2万4千トンとなっている。1人1日排出量は665g、これは全国の平均値918g、長野県の平均値811gと比べても少ない。長野県は令和元年度に排出量の少なさをランキングで6年連続都道府県1位を獲得しているから、佐久市が全国的に少ないかがわかる。市民一人ひとりのごみ減量意識の浸透など要因なのだろう。とはいえ、近年はプラスチックごみによる海洋汚染が深刻化、2050年にはごみが魚の量を超えるという試算もある。「信州プラスチックスマート運動」が呼び替えるように、意識して「選択」「少すず」「転換」、分別して「回収」を基本にさらに行動を変えていかなければいけない。私もすこすこ日常生活を見直している。マイボトル、マイ箸・カラトリーはいつもバックに常備、マイバックで買い物をするのがスタイルとなった。ほぼ毎日行っていたコンビニも月3回程度になり、外出先のごみが劇的に減った。今は包装容器プラを出さない買い物最大の目標。たとえば鉛筆は缶入りのドロップスにした。地球環境はみんなを守る。「ハチドリ」のひとしずく」の思いを胸に生活を送りたい。

お知らせ

第2回「市民活動×笑顔」フォトコンテスト投票のお願い

あなたの1票で
グランプリが決まります!
さくさぽで、応募写真をご覧ください!
どなたでも投票いただけます。
(1人1票)

- 選考期間:7月8日(木)～31日(土)
- 場所:佐久市市民活動サポートセンター
さくさぽ Facebook ページでも順次ご紹介しますので「いいね!」もお願いします♪※投票方法が変更になる場合があります

★高校生が作成!
第1回応募写真フォトムービーは
(YouTube) はこちら→



市民活動クローズアップ

新型コロナウイルスに負けない! 佐久地域発の元気な市民活動をご紹介します。
みなさんの周りではどんな活動がありますか? ぜひ、さくさぽまで情報をお知らせください!

『NPO 法人つくし』

～生まれ育った地域で楽しく生活できる場を～

野沢会館を拠点に、障がい者の就労や日中活動を支援する多機能型事業所を運営。「どんな障がいがあっても、生まれ育った地域で生きがいを持って楽しく生活してほしい」という思いで、現在20名の利用者が、袋作りやクッキー製造などを行っています。散歩中はオレンジ色のジャージが目印で、行き会う方との交流も。「ご近所さんから頂く野菜は昼食づくりに助かります」。ゴマやきなこ、珈琲など多種類の手作りクッキーは「浅科ほっとぱーく」にも宅配し、完売になるほど好評です♪

【連絡先】野沢共同作業センター (0267-63-7385)



『SAKU おむすびの会』

～初のオンライン講座開催に挑戦!～

発達障がいの子を持つ保護者が子育てしやすくなるようにと、学習会などの活動をしている SAKU おむすびの会。昨年の講演会はコロナの影響で中止。「先行きが見えない今こそ、悩みを共有できる場所は必要」と、4月にNPO法人えじそんくらぶ代表の高山恵子さんを講師にオンライン講演会「障がいがあっても幸せに生きる」を開催しました。「不安だったけど、やればできる!今まで参加できなかった子育て世代も参加できた。次はパブリックビューも設置したい」と話してくれました。

【代表】水間 理絵子さん (sakuomusubinokai@yahoo.co.jp)
【ブログ】<https://ameblo.jp/sakuomusubinokai100/>



市民活動団体とは?

市民の自主参加で活動に取り組む団体のことです。NPO法人、区等の自治会、PTA等の組織、趣味の会やサークルも含まれます。佐久市の市民活動団体として登録すると、行政など幅広い層に活動を知ってもらえます。登録ご希望の方はさくさぽまで! (現在の登録団体数: 212団体)

